

	名前	没年	流配置	流配年代	出典
1	崇徳天皇	1164年	讃岐	保元元（1156）年	流罪の日本史（32～38頁） 日本流人島史（103頁） 流されびと考（144～176頁）
2	法然	1212年	讃岐	承元元（1207）年	流罪の日本史（92頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154、155頁）
3	宗良親王 (尊澄法親王)	1385年？	讃岐	元弘元（1331）年	流罪の日本史（122頁） 日本流人島史（104頁）
4	高天		讃岐	応永27（1420）年	日本流人島史（105頁）
5	鳥居甲斐守耀蔵	1873年	讃岐	弦化元（1844）年	日本流人島史（110～111頁）

	名前	没年	流配置	流配年代	出典
1	木梨軽皇子	不明	伊予	允恭25（435）年？	古事記（下）（88頁）
2	軽大娘皇女	不明	伊予	允恭25（435）年	流罪の日本史（13頁） 流されびと考（34～58頁）
3	阿部宗任	1108年	伊予	康平7（1064）年	日本流人島史（103頁）
4	阿部家任	1062年？	伊予	康平7（1064）年	日本流人島史（103頁）
5	中原章継		伊予	文永元（1264）年	日本流人島史（104頁）
6	一揆頭取		鹿島	宝暦4（1754）年	データベース『えひめの記憶』

	名前	没年	流配置	流配年代		出典
1	藤原経宗	1189年	阿波	永暦元（1160）年		日本流人島史（104頁）
2	平信房		阿波	治承元（1177）年		日本流人島史（104頁）
3	土御門上皇	1231年	土佐→阿波	承久3（1221）年		流罪の日本史（84～87頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（155～157頁）
4	吉田隆長	1350年	阿波	元応2（1320）年		日本流人島史（104頁）

	名前	没年	流配置	流配年代	出典
1	屋垣王		土佐	天武天皇5（676）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（14~27,146頁）
2	柏原廣山		土佐	持統天皇3（689）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（28~40,146頁）
3	石上乙麻呂	天平宝勝2（750）年	土佐	天平11（739）年	流罪の日本史（26~29頁） 遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（40~73,146頁）
4	春日朝臣家継女		土佐	天平14（742）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（74~86,146頁）
5	京師巫覡（17人）		土佐	天平勝宝4（752）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（146頁）
6	伊加麻呂が男中臣真助		土佐	天平宝字7（763）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（108,109,146頁）
7	池田親王		土佐	天平宝字8（764）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（97~107,146頁）
8	水上志計志麻呂		土佐	神護景雲3（769）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（110~119,147頁）
9	弓削淨人一族		土佐	宝亀元（770）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（120~133,147頁）
10	上毛野兄国女		土佐	延暦14（795）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
11	出雲臣家継		土佐	延暦15（796）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
12	吉弥候部黒田・妻田刈女・都保呂・同妻留志女		土佐	延暦18（799）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
13	秦繼成・大伴繼守・羽昨弥公		土佐	延暦21（802）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
14	門部連松原		土佐	延暦23（804）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
15	吉弥候部欠奈閉		土佐	弘仁11（820）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
16	文屋安恒		土佐	承和10（843）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
17	讃岐永直	862年	土佐	嘉祥元（848）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147頁）
18	紀夏井		土佐	貞觀8（866）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（147, 148頁）
19	橘繁延		土佐	安和2（969）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（148頁）
20	源則理		土佐	長暦元（1037）年	遠流の地土佐（118頁） 土佐流刑（148頁）
21	源頼親	1057年	土佐	永承7（1050）年	日本流人島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）
22	藤原義考		土佐	康平3（1060）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）

23	興福寺僧静範縁坐者		土佐	康平6（1063）年	遠流の地土佐（119頁）	
24	橘惟行		土佐	康平7（1064）年	日本流入島史（103頁）	
25	源頼資		土佐	康平7（1064）年	扶桑略記（301頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）	
26	藤原仲季		土佐	延久4（1072）年	遠流の地土佐（119頁）	
27	大式守官8人		土佐	寛治元（1087）年	遠流の地土佐（119頁）	
28	高階為家	1106年	土佐	嘉保元（1094）年	日本流入島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（148頁）	
29	源頼治		土佐	承徳2（1098）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
30	源除子		土佐	康和元（1099）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
31	荒木田清綱		土佐	康和5（1103）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
32	源明国		土佐	大治4（1129）年	遠流の地土佐（119頁）	
33	源光信	1145年	土佐	大治5（1130）年	日本流入島史（103頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
34	源盛行		土佐	康治元（1142）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149頁）	
35	藤原師長	1192年	土佐	保元元（1156）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（149、150頁）	
36	藤原貞憲	1159年？	土佐	平治元（1159）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）	
37	源希義	1182年	土佐	平治元（1159）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（150頁）	
38	安倍泰親	1183年	土佐	治承3（1179）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（151、152頁）	この二人は土佐配流はなかった可能性がかなり高い
39	以仁王	1180年	土佐	治承4（1180）年	日本流入島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）	
40	顯真	1192年	土佐	養和2（1182）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（152頁）	
41	藤原宗長	1225年	土佐	文治4（1188）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）	
42	高田重家		土佐	建久元（1190）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153頁）	
43	佐々木定高		土佐	建久2（1191）年	流罪の日本史（60頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（153、154頁）	
44	宇都宮朝綱	1202年	土佐	建久9（1194）年	日本流入島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154頁）	

45	源隆保		土佐	正治元（1199）年	遠流の地土佐（119頁）
46	法然	1212年	土佐（讃岐にとどまる）	建永2（1207）年	流罪の日本史（92頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（154、155頁）
47	能臣		土佐	建保2（1214）年	遠流の地土佐（119頁） 土佐流刑（155頁）
48	土御門上皇	1231年	土佐→阿波	承久3（1221）年	流罪の日本史（84～87頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（155～157頁）
49	静実		土佐	元仁2（1224）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157頁）
50	中原章国		土佐	仁治2（1241）年	遠流の地土佐（120頁）
51	弾正忠職直		土佐	弘安5（1282）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（157、158頁）
52	北条時光		土佐	弘安7（1284）年	遠流の地土佐（120頁）
53	京極為兼	1332年	土佐	正和4（1315）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（158頁）
54	長乗		土佐	元応元（1319）年	遠流の地土佐（120頁）
55	尊良親王	1308年	土佐	元弘元（1331）年	流罪の日本史（126頁） 日本流人島史（104頁） 遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（158～161頁）
56	教高		土佐	文元中（1372）年	日本流人島史（105頁）
57	教真		土佐	応安7（1374）年	遠流の地土佐（120頁）
58	猷秀		土佐	永享5（1433）年	日本流人島史（105頁） 遠流の地土佐（120頁）
59	毛利勝信・勝永父子	勝信・1611年 勝永・1615年	土佐	慶長6（1600）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（181、182頁）
60	松下長綱	1658年	土佐	正保元（1644）年	歴史万華鏡子コラム2019年7月号
61	野中兼山一族		宿毛	寛文3（1663）年	日本流人島史（109～110頁） 土佐流刑（185～193頁）
62	滋野井實光		土佐	寛文4（1664）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（182～183頁）
63	伊達兵部	1679年	土佐	寛文3（1671）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（166～173頁）
64	中野伊右衛門		卯来島	延宝8（1680）年11月2日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
65	加賀爪直澄	1685年	土佐	天和元（1681）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（174～180頁）
66	曾根頼久		土佐	貞享2（1685）年	遠流の地土佐（120頁）
67	小田切昌雄	1717年	土佐	貞享4（1687）年	遠流の地土佐（120頁） 土佐流刑（184頁）
68	三浦庄蔵勘兵衛		沖の島	宝曆3（1753）年6月25日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
69	浅井孫左衛門		卯来島	宝曆3（1753）年9月25日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
70	串浦新右衛門		沖の島	宝曆6（1756）年11月11日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
71	百姓熊治		卯来島	文政10（1827）年12月9日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
72	伊藤孫兵衛		卯来島	文政10（1827）年12月19日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
73	城下等覚寺僧元助		卯来島	文政11（1828）年6月17日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
74	森蔵		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
75	佳吉		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
76	金十郎		沖の島	文政13（1830）年6月10日	宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
77	墳事件生存者名九		渡川以西	慶応4（1868）年	土佐流刑（222～245頁）

*佐渡の可能性もある

卯来島、沖の島は現在高知県の土地であるが
廃藩置県前は宇和島藩の領地であった

名前	流配置	流配年代	流配（世紀）
木梨絆皇子	伊予	433年	5c
軽大娘皇女	伊予	435年	5c
屋垣王	土佐	676年	7c
柏原廣山	土佐	689年	7c
石上乙麻呂	土佐	739年	8c
春日朝臣家繼女	土佐	742年	8c
京師巫覡（17人）	土佐	752年	8c
伊加麻呂が男中臣真助	土佐	763年	8c
池田親王	土佐	764年	8c
氷上志計志麻呂	土佐	769年	8c
弓削淨人一族	土佐	770年	8c
上毛野兄国女	土佐	795年	8c
出雲臣家繼	土佐	796年	8c
吉弥候部黒田・妻田刈女・都保呂・同妻留志女	土佐	799年	8c
泰繼成・大伴繼守・羽昨弥公	土佐	802年	9c
門部連松原	土佐	804年	9c
吉弥候部欠奈閉	土佐	820年	9c
文屋安恒	土佐	843年	9c
讃岐朝臣永直	土佐	848年	9c
紀夏井	土佐	866年	9c
橋繁延	土佐	969年	10c
源則理	土佐	1037年	11c
源頼親	土佐	1050年	11c
藤原義考	土佐	1060年	11c
興福寺僧静範縁坐者	土佐	1063年	11c
橋惟行	土佐	1064年	11c
源頼資	土佐	1064年	11c
阿部宗任	伊予	1064年	11c
阿部家任	伊予	1064年	11c
藤原仲季	土佐	1072年	11c
大式序官8人	土佐	1087年	11c
高階為家	土佐	1094年	11c

古代

出典
 古事記（下）（88頁）
 流罪の日本史（13頁）
 流されびと考（34～58頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（14～27,146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（28～40,146頁）
 流罪の日本史（26～29頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（40～73,146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（74～86,146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（108,109,146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（97～107,146頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（110～119,147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（120～133,147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147頁）
 日本流入島史（103頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（147,148頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（148頁）
 遠流の地土佐（118頁）
 土佐流刑（148頁）
 日本流入島史（103頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 土佐流刑（148頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 土佐流刑（148頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 土佐流刑（148頁）
 扶桑略記（301頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 土佐流刑（148頁）
 日本流入島史（103頁）
 日本流入島史（103頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 日本流入島史（103頁）
 遠流の地土佐（119頁）
 土佐流刑（148頁）

源頼治	土佐	1098年	11c
源除子	土佐	1099年	11c
荒木田清綱	土佐	1103年	12c
源明国	土佐	1129年	12c
源光信	土佐	1130年	12c
源盛行	土佐	1142年	12c
藤原師長	土佐	1156年	12c
崇徳天皇	讃岐	1156年	12c
藤原貞憲	土佐	1159年	12c
源希義	土佐	1159年	12c
藤原経宗	阿波	1160年	12c
平信房	阿波	1177年	12c
安倍泰親	土佐	1179年	12c
以仁王	土佐	1180年	12c
顕真	土佐	1182年	12c
藤原宗長	土佐	1188年	12c
高田重家	土佐	1190年	12c
佐々木定高	土佐	1191年	12c
宇都宮朝綱	土佐	1194年	12c
源隆保	土佐	1199年	12c
法然	讃岐	1207年	13c
能臣	土佐	1214年	13c
土御門上皇	阿波	1221年	13c
静実	土佐	1224年	13c
中原章国	土佐	1241年	13c
中原章継	伊予	1264年	13c
彈正忠職直	土佐	1282年	13c
北条時光	土佐	1284年	13c
京極為家	土佐	1315年	14c
長乗	土佐	1319年	14c
吉田隆長	阿波	1320年	14c
宗良親王（尊澄法親王）	讃岐	1331年	14c

遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (149頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (149頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (149頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 日本流入島史 (103頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (149頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (149頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (150頁)
 流罪の日本史 (32~38頁)
 日本流入島史 (103頁)
 流されびと考 (144~176頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (150頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (150頁)
 日本流入島史 (104頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (151、152頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (152頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (152頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (153頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (153頁)
 流罪の日本史 (60頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (153、154頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (154頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 流罪の日本史 (92頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (154、155頁)
 遠流の地土佐 (119頁)
 土佐流刑 (155頁)
 流罪の日本史 (84~87頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (155~157頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (157頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (157、158頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (158頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 日本流入島史 (104頁)
 流罪の日本史 (122頁)
 日本流入島史 (104頁)

中世

この二人は土佐配流はなかった可能性がかなり高い

土佐（讃岐にとどまる）

土佐から阿波に移る

*佐渡の可能性もある

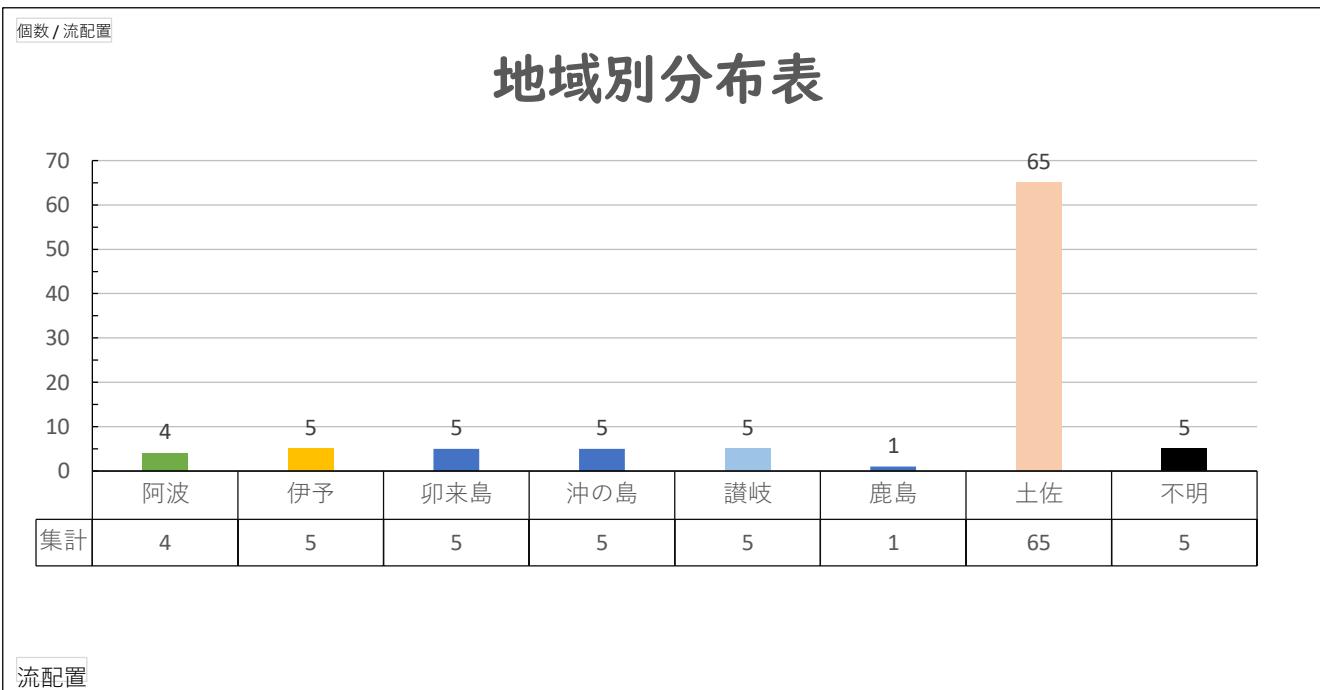
尊良親王	土佐	1331年	14c	
教高	土佐	1372年	14c	
教真	土佐	1374年	14c	
高天	讃岐	1420年	15c	
猷秀	土佐	1433年	15c	
毛利勝信・勝永父子	土佐	1600年	16c	
松下長綱	土佐	1644年	17c	
野中兼山一族	土佐	1663年	17c	
滋野井實光	土佐	1664年	17c	
伊達兵部	土佐	1671年	17c	
中野伊右衛門	卯來島	1680年	17c	
加賀爪直澄	土佐	1681年	17c	
曾根頼久	土佐	1685年	17c	
小田切昌雄	土佐	1687年	17c	
頭取	不明	1719年	18c	
三浦庄蔵勘兵衛	沖の島	1753年6月25日	18c	
浅井孫左衛門	卯來島	1753年9月25日	18c	
頭取	鹿島	1754年	18c	
頭取	不明	1756年1月15日	18c	
串浦新右衛門	沖の島	1756年11月11日	18c	
頭取	不明	1761年10月19日	18c	
庄屋	不明	1771年冬	18c	
頭取	不明	1803年5月19日	19c	
百姓熊治	卯來島	1827年12月9日	19c	
伊藤孫兵衛	卯來島	1827年12月19日	19c	
城下等覚寺僧元助	卯來島	1828年6月17日	19c	
森藏	沖の島	1830年6月10日	19c	
佳吉	沖の島	1830年6月10日	19c	
金十郎	沖の島	1830年6月10日	19c	
鳥居甲斐守耀蔵	讃岐	1844年	19c	
近代	堺事件生存者(9名)	土佐	1868年	19c

流罪の日本史 (126頁)
 日本流入島史 (104頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (158~161頁)
 日本流入島史 (105頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 日本流入島史 (105頁)
 日本流入島史 (105頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (181, 182頁)
 歴史万華鏡子コラム2019年7月号
 日本流入島史 (109~110頁)
 土佐流刑 (185~193頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (182~183頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (166~173頁)
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (174~180頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 遠流の地土佐 (120頁)
 土佐流刑 (184頁)
 データベース『えひめの記憶』
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 データベース『えひめの記憶』
 データベース『えひめの記憶』
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 データベース『えひめの記憶』
 データベース『えひめの記憶』
 データベース『えひめの記憶』
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】
 日本流入島史 (110~111頁)
 土佐流刑 (222~245頁)

渡川以西に流れる

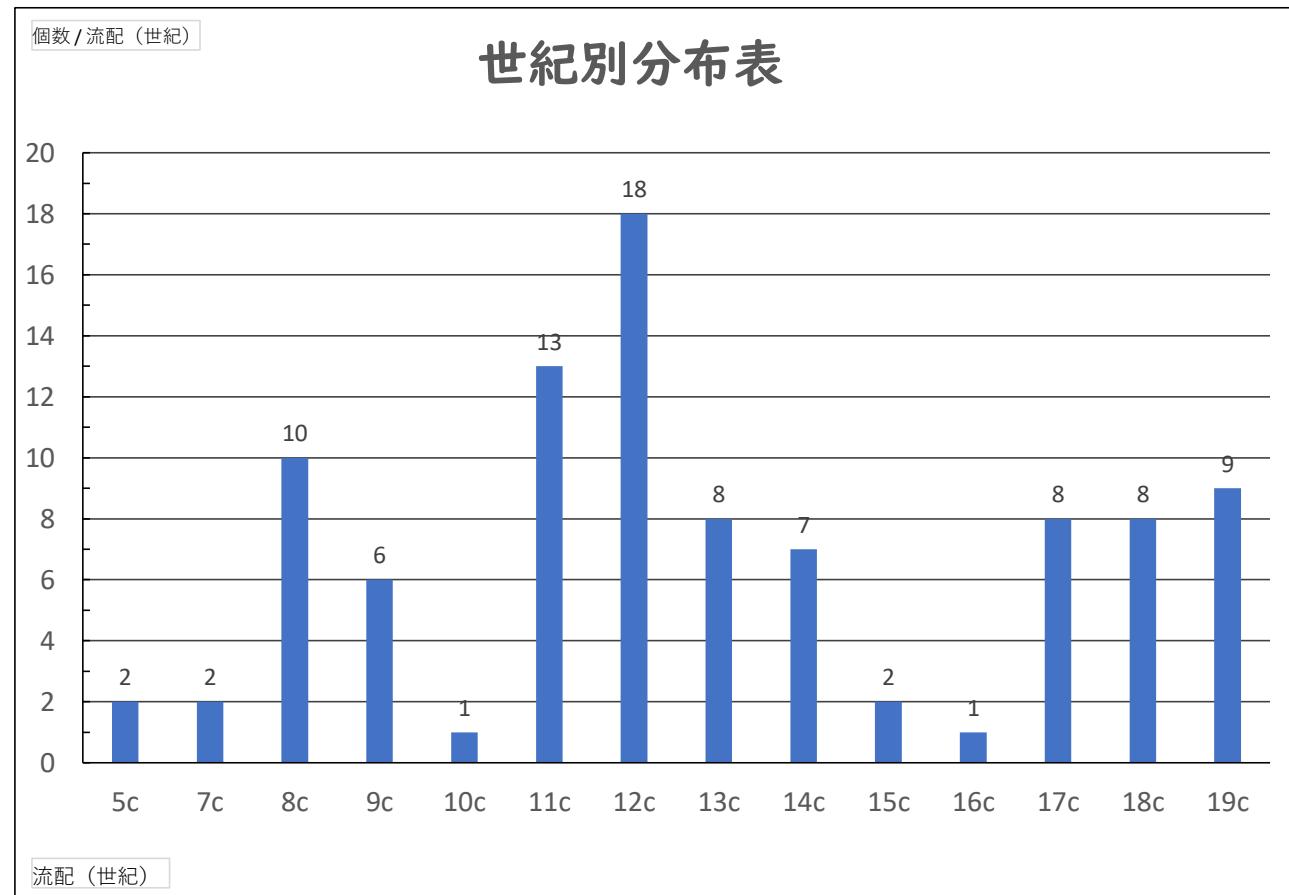
流配置	個数 / 流配置
阿波	4
伊予	5
卯来島	5
沖の島	5
讃岐	5
鹿島	1
土佐	65
不明	5
合計	95

不明に関してはこれからも
調査を続け場所の特定をする



流配（世紀）	個数 / 流配（世紀）
5c	2
7c	2
8c	10
9c	6
10c	1
11c	13
12c	18
13c	8
14c	7
15c	2
16c	1
17c	8
18c	8
19c	9
合計	95

6世紀に四国に流された記載は見つからなかったため6世紀はありません



|

流罪者一覧	罪状	出典	作者
経大娘直女	近親姦	流罪の日本史	渡邊大門
石上乙麻呂	宮中の姦通	同上	同上
崇徳天皇	保元の乱に敗れる	同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷沙汰の処分より連座 延暦寺と千僧供養領をめぐり	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
法然	承久の法難	同上	同上
尊良親王	元弦の乱の処分	同上	同上
宗良親王	元弦の乱の処分	同上	同上
紀夏井	応天門の変より連座	日本流人島史 その多様性と刑罰の時代的特性	重松一義
源頼親	次男・頼房の興福寺との合戦より訴えられ配流	同上	同上
橋惟行	不明	同上	同上
阿部宗任	前九年合戦に敗れ降伏、その処分	同上	同上
阿部家任	前九年合戦に敗れ降伏、その処分	同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源光信	源義親の乱より義親とその郎党數十名を殺害した罪	同上	同上
崇徳上皇	保元の乱に敗れる	同上	同上
藤原經宗	平治の乱後信西殺害の責任を言及され流罪	同上	同上
平信房		同上	同上
以仁王		同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えで流配	同上	同上
法然上人	承久の法難の処分	同上	同上
土御門上皇	承久の法難の処分	同上	同上
中原章継		同上	同上
吉田隆長	日吉大社の神人を禁獄したことと延暦寺より訴えられた処分	同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の鷲岐配流に連座	同上	同上
尊澄法親王	後醍醐天皇の鷲岐配流に連座	同上	同上
教高		同上	同上
高天		同上	同上
歎秀	不正をしたとの比叡山山徒からの弾劾訴訟により配流	同上	同上
野中兼山一族	民衆の反感を買ひ失脚、兼山の死後一族を配流	同上	同上
鳥居甲斐守耀威	水野忠邦を裏切り、仲間に裏切られたことで失脚	同上	同上
源頼資	橋惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	扶桑略記	黒坂勝美
屋垣王	罪によって流すとされているが詳細不明	流され入考土佐流刑	阿部幸吉
柏原廣山	兵衛であると身分を偽ったため	同上	同上
石上乙麻呂	長中に久米若丸と姦通したことにより流配	同上	同上
春日朝臣家継女	塙焼王の事件から流配	同上	同上
京師巫覡（17人）		同上	同上
池田親王	馬を集め謀反を起こそうとしたため、格下げをして流罪	同上	同上
伊加麻呂が男中臣真助	酔いつぶれ尼鎧に係る詐をしたため	同上	同上
氷上志計麻呂	父塙焼王が藤原仲麻呂の乱に加担、さらに母不破内親王の悪行に連座	同上	同上
弓削淨人	兄道鏡が失脚したことによる連座 小倉百人一首に和歌を残している謡多き歌人猿丸太夫と弓削淨人が同一人物であるという説がある 佐川町教育委員会より	同上	同上
上毛野兄国女	人々を惑わすことを言いふらしたため	同上	同上
出雲臣家継		同上	同上
吉弥候部黒田	野心を改めなかったことが原因	同上	同上
泰継成		同上	同上
門部達松原		同上	同上
吉弥候部欠奈閑		同上	同上
文屋安恒	宮田麻呂の謀反に連座	同上	同上
讃岐朝臣永直	不敬罪の冤罪により流刑	同上	同上
紀夏井	応天門の変に連座	同上	同上
橋繁延	安和の変による流刑	同上	同上
源則理	岩清水八幡別宮の神主との争い射殺したため	同上	同上
源頼親	興福寺の訴え	同上	同上
藤原義考	伊勢神宮の御厨を焼いた罪	同上	同上
源頼資	橋惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源頼治	延暦寺との対立→手勢が日吉大社の神奥を弓で射る→間白の藤原師通が急死したことで神罰と恐れた朝廷が処分	同上	同上
源除子		同上	同上
荒木田清綱	離宮放火の罪	同上	同上
源光信（土岐光信）	源義親の乱より義親とその郎党數十名を殺害した罪	同上	同上
源盛行	源盛行、津守嶋子夫妻が呪詛を奉ったことを密告され流配	同上	同上
藤原師長	保元の亂首謀者である父頼長に縁座	同上	同上
藤原貞憲	平治の乱に関わらず配流	同上	同上
源希義	平治の乱後捕まり配流	同上	同上

安倍泰親	「占文其効なきうえ速やかに土佐の畠へ流罪被るべく定められて既に追立の官人に仰せ付けられるべしとぞ定めける」の記述を根拠とした配流 「高知県史・古代中世編」では否定的な見解を示しており配流はなかった可能性あり	同上	同上
以仁王	「吾妻鏡」や「平家物語」に流配の記載があるが宇治で敗死しているため配流はなかった可能性あり	同上	同上
顯真	土佐国編年紀事略に記載あり	同上	同上
藤原宗長	石清水八幡宮の詔えにより配流	同上	同上
高田重家		同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷沙汰の処分より連座 延暦寺と千僧供養料をめぐり	同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えて流配	同上	同上
法然	承久の法難により配流。土佐に入らず讃岐に留まる	同上	同上
能臣	円城寺金銅を焼いたことに関わる配流か、詳細不明	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
静実	尊修念仏禁止が再度出されたのがこの年。それに係わる配流か	同上	同上
弾正忠職直	後鳥羽上皇の院宣による山城大隈庄と関東の庄との換地にまつわる争いから処分されたと思われる	同上	同上
京極為兼	西園寺実兼の家司として伏見天皇に仕え活躍、そのため実兼と対立、流配	同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の御歌配流に連座	同上	同上
伊達兵部	お家騒動より問題を起こし流配	同上	同上
加賀爪直澄	接する領地の境界争いにより加賀爪側の敗訴。その後裁断。罪はかなり軽いが預り流人となる	同上	同上
毛利勝信・勝永父子	関ヶ原の戦いで西軍に所属し敗北、土佐へ流配	同上	同上
足野井實光	素行不良	同上	同上
小田切新右衛門	不明	同上	同上
野中兼山一族	民衆の反感を買ひ失脚、兼山の死後一族を配流	同上	同上
堺事件生存者9名	堺事件を起こした土佐藩士の内11名が切腹をしたのち9名が助命。その後渡川以西へ配流が決定	同上	同上

木梨絆皇子	皇位継承の争いで捕まり伊予に流される	古事記(下) -全三巻-	次田真幸
-------	--------------------	--------------	------

三浦庄蔵勘兵衛		宿毛市史【近世編-近世の沖ノ島-宇和島藩の遠流地】 https://www.city.sukumo.kochi.jp/sisi/051201.html 2025年11/28最終閲覧	宿毛市 (https://www.city.sukumo.kochi.jp/sisi/051201.html) 2025年11/28最終閲覧
浅井孫左衛門		同上	同上
串浦新右衛門		同上	同上
中野伊右衛門		同上	同上
伊藤孫兵衛		同上	同上
百姓熊治		同上	同上
城下等覚寺僧元助		同上	同上
森蔵	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上
佳吉	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上
金十郎	文政13年伊方浦農民騒動の首謀者として流罪	同上	同上

屋垣王	罪によって流すとされているが詳細不明	遠流の國 土佐	高知城歴史資料館
柏原廣山	兵衛であると身分を偽ったため	同上	同上
石上乙麻呂	長中に久米若狭と森通したことにより流配	同上	同上
春日朝臣家継女	塩焼王の事件から流配	同上	同上
京師巫覡（17人）	伊豆・隠岐・土佐へ	同上	同上
池田親王	馬を集め謀反を起させたため、格下げをして流罪	同上	同上
伊加麻呂が男中臣真助	酔いつぶれ呪縛に係る話をしたため	同上	同上
水上志計麻呂	父塩焼王が藤原仲麻呂の乱に加担、さらに母不破内親王の悪行に連座	同上	同上
弓削淨人一族	兄道鏡の処斷に連座	同上	同上
上毛野兄国女	人々を惑わすことを言いふらしたため	同上	同上
出雲臣家継		同上	同上
吉弥候部黒田・妻田州列女・都保呂・同妻留志女	野心を改めなかっただことが原因	同上	同上
泰継成・大伴継守・羽昨弥公		同上	同上
門部連松原		同上	同上
吉弥候部欠奈間		同上	同上
文屋安恒	宮田麻呂の謀反に連座	同上	同上
讃岐朝臣永直	不敬罪の冤罪により流刑（3年後赦）	同上	同上
紀夏井	応天門の変に連座	同上	同上
橋繁延	安和の変による流刑	同上	同上
源則理	岩清水八幡別宮の神主との争い	同上	同上
源頼親	興福寺の訴え	同上	同上
藤原義考	伊勢神宮の御厨を焼いた罪	同上	同上
興福寺僧静範縁坐者（16人）	安房・常陸・佐渡・隠岐・土佐へ	同上	同上
源頼資	橘惟行と私闘、館を燃やし殺害した罪	同上	同上
藤原仲季		同上	同上
大式庁官8人		同上	同上
高階為家	春日神人暴行の罪で興福寺から強訴	同上	同上
源頼治	延暦寺との対立で手勢が日吉大社の神輿を弓で射る→閑白の藤原師通が急死したことで神罰と恐れた朝廷が処分	同上	同上
源除子		同上	同上
荒木田清綱	離宮放火の罪	同上	同上
源明国	美濃國に赴いたときに私闘で3人を殺害。そのまま帰京したことで織れを持ち込んだとして、詮議の結果流罪	同上	同上
源光信（土岐光信）	源義親の乱より義親とその郎党數十名を殺害した罪	同上	同上
源盛行	源盛行、津守鳩子夫妻が呪詛を奉ったことを密告され流配	同上	同上

藤原師長	保元の乱首謀者である父頼長に縁座	同上	同上
藤原貞憲	平治の乱に間わる配流	同上	同上
源希義	平治の乱後捕まり配流	同上	同上
安倍泰親	「占其効なきうえ速やかに土佐の畠へ流罪被るべく定められて既に進立の官人に仰せ付かれるべしとぞ定りける」の記述を根拠とした配流 「高知県史・古代中世編」では否定的な見解を示しており配流はなかった可能性あり	同上	同上
以仁王	「吾妻鏡」や「平家物語」に流配の記載があるが宇治で敗死しているため配流はなかった可能性あり	同上	同上
顯真	土佐国編年紀事跡に記載あり	同上	同上
藤原宗長	石清水八幡宮の訴えにより配流	同上	同上
高田重家		同上	同上
佐々木定高	父、定綱の刃傷争決の処分により連座 延暦寺と千僧供養領をめぐり（2年後赦免）	同上	同上
宇都宮朝綱	下野国司の訴えて流配	同上	同上
源隆保	自宅に武士を集め謀議をしたことが原因	同上	同上
法然	承久の法難により配流。土佐に入らず讃岐に留まる	同上	同上
能臣	円城寺金銅を焼いたことに間わる配流か、仔細不明	同上	同上
土御門上皇	承久の乱の処分	同上	同上
静実	専修念仏禁止が再度出されたのがこの年。それに係わる流か	同上	同上
中原章国		同上	同上
彈正忠職直	後鳥羽上皇の院旨による山城大隈庄と関東の庄との換地にまつわる争いと思われる	同上	同上
北条時光＊（佐渡の可能性もある）		同上	同上
京極為家	西園寺実兼の家司として伏見天皇に仕え活躍、そのため実兼と対立、流配	同上	同上
長乗		同上	同上
尊良親王	後醍醐天皇の隠岐配流に連座	同上	同上
教真		同上	同上
獸秀	不正をしたと比叡山山径からの彈劾訴訟により配流	同上	同上
毛利勝信・勝永父子	関ヶ原の戦いで西軍に所属し敗北、土佐へ流配	同上	同上
滋野井實光	素行不良	同上	同上
伊達兵部	お家騒動より問題を起こし流配	同上	同上
加賀爪直澄	接する領地の境界争いにより加賀爪側の敗訴。その後裁断。罪はかなり軽いが預り流人となる	同上	同上
曾根頼久		同上	同上
小田切昌雄	父・昌近が砂田・壹野村の論争に愚かな行為があったため处罚されたことに連座	同上	同上

(享保4年)一揆頭取	宇和島藩領宇和郡下灘浦の農民六二人、庄屋の非違を藩に訴える。不成功、頭取遠島（伊予百姓一揆）	データベース『えひめの記憶』	愛媛県生涯学習センター (https://www.i-manaobi.jp/system/regionalis/regionalis/icode:2/64/view/8153) 2025年12/1最終閲覧
(宝曆4年)一揆頭取	宇和島藩領宇和郡多田組上松葉村など12か村の農民騒擾あり、頭取が鹿島に遠島となる（伊予百姓一揆）	同上	同上
(宝曆6年1月15日)頭取	宇和島藩領宇和郡多田組12か村の農民騒擾再発する（上松葉村庄屋横目役職取り上げ、頭取は流罪）【小原村清家日記】	同上	同上
(宝曆11年10月19日)一揆頭取	宇和島藩領宇和郡田野々村で一揆あり、頭取遠島となる（宇和島御仕置帳）	同上	同上
(明和8年冬)庄屋	宇和島藩領宇和郡下川村、庄屋と組頭の不和から騒動おこり、庄屋流罪（東宇和郡沿革史）	同上	同上
(享和3年5月19日)頭取	宇和島藩領宇和郡高山浦の農民二五〇人、庄屋・組頭の非違を訴える。5月19日庄屋退役、頭取流罪（記録書抜）	同上	同上

松下長綱	正保元年に突如乱心し、家来などを斬殺したことにより改易のうえ、土佐山内家に預けられる	歴史万華鏡子コラム2019年7月号	歴史万華鏡コラム2019年7月号-高知県公式ホームページ (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/80/man1907.html) 2025年12/6最終閲覧
------	--	-------------------	--

経大娘皇女	近親姫	流されびと考	杉本苑子
崇徳上皇	保元の乱に敗れる	同上	同上